

プログラムの概要

本研究科は3つの専攻、国際社会研究専攻、国際文化研究専攻および国際交流研究専攻により構成されています。国際社会研究専攻は、地域社会形成研究を教育研究領域とし、主に海域アジア・太平洋研究と陸域ユーラシア研究を対象にしています。国際文化研究専攻は、地域文化形成研究を教育研究領域とし、環太平洋研究、環大西洋研究が主な研究対象です。国際交流研究専攻は国際交流研究、国際貢献研究を教育研究領域にしています。

修了認定の基準 (ディプロマ・ポリシー)

本研究科では高度専門職人として要請される以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したことに加え、修士論文を提出し、最終試験の審査に合格した者に対して「修士(国際学)」の学位を授与します。

- ・グローバル共生の視点に基づく国際問題の的確な分析能力・異文化理解能力
- ・市民レベルの実践的国際交流・貢献能力
- ・調査分析能力と問題解決能力、企画・提言能力
- ・コミュニケーション能力
- ・情報処理能力

履修条件 (アドミッション・ポリシー)

1. 国際的な視野で豊かな地球社会の形成・地球文化の形成について深く学び、そのために寄与したいと思っている人
2. 国際社会における国家、地域、個人の在り方について真摯に考えたいと思っている人
3. 多文化の共生をめざして、ビジョンやアイデアを積極的に発信していきたいと思っている人
4. 日本から発信する市民レベルおよび草の根的な国際交流・国際貢献活動に積極的に参加する希望を持っている人
5. 国際化する問題の解決を説得的に表現し実践していく適性と基礎学力およびコミュニケーション能力を持っている人

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針 (カリキュラム・ポリシー)

学修・教育目標を達成するために、カリキュラムは大きく3つに分けられます。具体的には、次ページのカリキュラムツリーに示すような授業科目が編成されています。

国際社会研究専攻はローカル(地域的)に生起する民族紛争、政治的対立、環境悪化等の諸問題を理論的、実証的に明らかにするために、海域アジア・太平洋と陸域ユーラシアという二つの連鎖的交流空間における経済、政治、社会システムの構造と機能に着目するとともに、それらの比較とグローバルな総合(地球社会形成)という視点を加味しつつ教育研究を行います。

国際文化研究専攻はローカル(地域的)に生起する異文化間の摩擦や交流、言語問題、宗教的対立等の諸問題を理論的、実証的に明らかにするために、環太平洋と環大西洋という二つの連鎖的交流空間における文化システムの構造と機能に着目するとともに、それらの比較とグローバルな総合(地球文化形成)という視点を加味しつつ教育研究を行います。

国際交流研究専攻はローカルな現象や問題を理論的、実証的に明らかにし、グローバルな国際関係との関わりで学際的、総合的に教育研究するととどまらず、広く日本から発信する市民レベルの実践的国際交流・国際貢献について教育研究を行い、以て地球社会・地球文化形成に寄与します。

本研究科では、上記3専攻における教育研究とその総合を通じて、APSIAの目的でもある政府・民間・非営利3部門における国際的な高度専門職業人の養成に努めます。

国際学研究科博士前期課程カリキュラムツリー

